



優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

ふれあいネットワーク

# まほろば

## 社協広報

第93号



## 災害時の連携強化！

6月23日(水)、山形村社会福祉協議会と山形村は、災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定を締結しました。

協定では大規模な災害が起こった際に、村が設置の指示をした災害ボランティアセンターの運営を、社会福祉協議会が行うという内容になっています。

社会福祉協議会では、令和元年度台風19号災害で甚大な被害を受けた長野市の災害ボランティアセンターの運営に関わり、災害時における住民の困りごとを把握し、ボランティアを派遣するだけでなく、今後の生活についての聴き取り等、住民との密な関わりが必要だということを感じました。

この協定を締結したことで、いざという時のために、社会福祉協議会だからこそできる災害ボランティアセンターの運営を考えていきます。

- 会長就任あいさつ／会長退任あいさつ…………… 1
- 指定地域密着型通所介護事業所 建部の里…………… 2
- 誰でも気軽に立ち寄れる居場所を～よりまじよ家inすばる～…………… 3
- 小学生からの贈りもの／夏休み子どもひろば…………… 4
- 令和3年度 普通会員会費納入結果…………… 5
- 共同募金運動にご協力ください…………… 6
- 障害者生活・就労支援/地域交流センターすばる  
／福祉なんでも相談…………… 7



## 会長就任あいさつ

会長 山口 隆也

この度、令和3年6月28日に開催されました理事会で、山形村社会福祉協議会の会長に選任されました。

微力ではありますが、山形村社会福祉協議会の円滑な運営と地域福祉の推進のため、力を尽くしてまいりますので、皆さまのご指導をよろしくお願いいたします。

今日、少子・高齢社会の進行で、生活様式、家族構成など、地域をとりまく環境は大きく変化しています。

山形村社会福祉協議会は、そのような課題に対応し、誰もが住み慣れた地域で安心してくらせる社会づくりを目指して活動してまいります。

当協議会は、村民の皆さま、地域の社会福祉関係者により支えられています。

今後も、更なるご支援とご協力をお願い申し上げ就任の挨拶といたします。



## 会長退任あいさつ

前会長 中村 一博

令和3年6月28日に開催されました評議員会をもちまして、山形村社会福祉協議会会長を退任致しました。任期中、山形村社会福祉協議会会員皆様のご支援に心より御礼申し上げます。

連絡班長様のご努力により、会員皆様の会費と提言をいただきました。また、会員皆様より、高額な寄付や食材提供のご協力をいただきました。

これらは組織強化や共生社会の推進、地域福祉の向上に活用致します。重ねて感謝申し上げます。今後も会員皆様が力を合わせ、誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を願っています。

山形村社会福祉協議会の更なる発展をご祈念申し上げ、退任の挨拶と致します。長きにわたり本当にありがとうございました。

## 山形村社会福祉協議会 理事・監事・評議員 (新会期就任者名簿) (敬称略)

(令和3年9月15日現在)

### 理事

山口 隆也(会長)  
赤羽 孝之(副会長)  
田中 雄一郎(常務理事)  
三澤 一男  
沖津 弘門  
中村 俊春  
古本 政雄  
中村 哲久  
増塩 むつみ

### 監事

大久保 英雄  
宮前 光宏

### 評議員

福澤 倫治  
春日 仁  
北澤 千弘  
中村 則光  
桐原 茂喜  
唐沢 英二  
宮沢 房子  
平沢 妙香

中村 清子  
相澤 信一  
堤 八千代  
百瀬 純雄  
中村 よしみ  
小口 良一  
上條 光明  
宮澤 眞由美

中村 弘  
青柳 寛  
平沢 典義

# 個性を活かした取り組みで 生きがいづくり

## ～指定地域密着型通所介護事業所 建部の里～

92号に引き続き、建部の里での新たな取り組みについてご紹介します。

コミュニティハウス建部の里は、平成18年に認知症対応型通所介護事業所としてスタートしました。古民家を再生して家庭的な雰囲気を大切にしながら、寄り添う介護を目指し、15年間皆さまに親しまれてきました。ですが様々な環境の変化から、この4月1日より指定地域密着型通所介護事業所として再スタートしました。

定員枠を1日15名まで広げ、月曜日から土曜日まで営業しています。看護師を配置することで機能訓練にも力を入れ、身体機能の回復、向上を希望される利用者さんにマンツーマンで対応でき、機能回復に期待が持てます。

定員が増えたことでデイルームはとてにぎやかになり、レクリエーションにも幅が広がり、お互いに励まし合う姿が見られていい刺激になっているようです。アットホームな雰囲気は自宅にいるような安心感で、専門職が一人ひとりに寄り添いながら対応できる環境です。時代の流れ（社会情勢）に伴い、様々な家庭環境の変化がみられる中で在宅介護の拠り所として、コミュニティハウス建部の里の役割は高齢者ばかりでなく、ご家族にも安心していただける場でありたいと考えています。



〈なすの入ったおやき作り〉

## 個別機能訓練

利用者さんに目標を決めてもらい、その目標に向かってリハビリを行なっています。目標を持つことで、リハビリをする意欲も高まり頑張って取り組む姿がみられます。

機能訓練指導員（看護師）によるリハビリ開始から3ヶ月が経ち、歩行状態も良くなり、前向きな発言も増えてきました。一人ひとりに寄り添ったリハビリの効果が少しずつできたのではないかと、利用者さん共々嬉しく思っています。



# 誰でも気軽に立ち寄れる居場所を

## ～よりましょ家<sup>や</sup>inすばる～



山形村ボランティアセンターでは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で収入が減少した家庭や、就学援助世帯、ひとり親家庭、住民税非課税世帯等を対象に、お弁当や食品を配付する『出張！村内をまわるワンコインぐるぐる弁当』を行なってきました。その中で、長期休暇や平日の放課後に、子ども食堂や寺子屋のような居場所を求めている家庭があることが分かってきました。

社会福祉協議会として、ひきこもりや生活困窮等、様々な相談を受ける中で「社会とのつながり、関わりを持った方がいいと言われるが、実際にはどうしたらいいかわからない」という言葉を聴く機会が増えているように感じています。

その中で、ぐるぐる弁当にご協力いただいている、つつみ庵の林さんから「軽食喫茶ぼぼねっとで使っていた厨房を利用して子どもたちと食事を作ったり、蕎麦打ちなど子どもたちが何か体験やふれあいができる居場所ができないか」とお話がありました。

「子どもだけでなく、体験やふれあい活動を通して、社会との関わりを求める人や心の拠り所になる場を求めている人はもっといるのではないか。」そう考え、参加される方の得意なことを活かせる場、色々な世代の方と交流できる場、悩みを話せる場。そんな居場所を地域の皆さんと一緒に作りたい。“気軽に立ち寄れる・拠り所になる”という意味を込めて『よりましょ家<sup>や</sup>inすばる』を企画しました。

居場所として候補に挙がったいちいの里すばるでは、平成29年3月まで軽食喫茶ぼぼねっとを営業していました。その厨房と喫茶スペースを居場所として活用できるよう、7月31日(土)のよりましょ家<sup>や</sup>inすばるでは「まずはしばらく使っていなかった厨房を皆で掃除しよう！」と、片付けと掃除を行いました。

当日は小、中学生から大人まで5名の参加者と職員、ボランティアの計11名で、厨房に置いてあったコンテナをきれいに洗って収納したり、喫茶スペースの床掃除や窓ふきを行いました。ぐるぐる弁当ではゆっくり話ができなかった方と話をしたり、来てくれた子どもが掃除を通して、世代を超えた交流をすることができる機会となりました。

今後はパンを寄付してくださっているアサヒ酵母さんのパン工場見学や、蕎麦打ち教室、皆さんの「やりたい！」に応じて、様々な体験等を参加者の皆さんと一緒に企画していきます！興味のある方は、私たちと一緒によりましょ家<sup>や</sup>を作りませんか？

お問い合わせ先：山形村ボランティアセンター（山形村社会福祉協議会） 電話97-2102



集いの場になる喫茶スペースの掃除



1枚1枚丁寧に網戸の汚れを落としました

## 小学生からの贈りもの

コロナ禍で訪問して交流することが難しくなっている今、山形小学校3年生の皆さんが、音楽会の様子のDVD等を、社会福祉協議会に届けてくれました。

小学校での活動を手書きで写真を交えながら、大きな字やカラフルな色を使って、見やすいよう工夫をして模造紙にまとめてくれました。利用者さんからは、「学校は楽しそうだね」「元気な歌声だね。聞いていると元気が出る」「学校に通いたい」など、さまざまな声が聞かれ、とても楽しそうな学校の様子が伝わりました。

ふれあう交流ができる日を心待ちにしています。山形小学校3年生の皆さん、心温まるプレゼントをありがとうございました。



## 子どもたちに居場所と楽しみを ～夏休み子どもひろば～

長期休み中の子どもたちの居場所や、地域の子も同士や世代を超えた交流など、子どもたちが楽しみながら体験ができる、毎年恒例の夏休み子どもひろばを今年度も企画しましたが、7月末に新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが引き上がったことを受け、参加される皆さんの健康、安全面を第一に考え、大変残念ではありますが今年度の開催を中止させていただきました。

ですが、ボランティアさんが用意してくれたじゃがいも畑や、子どもひろばを楽しみにしてくれていた子ども

たちのために、8月4日(水)と11日(水)に、時間を区切り短時間、少人数でじゃがいも掘りを行いました。

参加した子どもたちからは「カレー食べたかったなあ～」「僕、ピオトープに行きたかった」という声がありましたが、じゃがいも掘りを始めると「見てー！すごく大きいのが取れたよー!!」「まだ大きいのがあるかも！」と夢中になってじゃがいもを掘っていました。

当日は中学生ボランティアも参加し、子どもたちに「まだ、こ



こ掘ってないよ。ここを掘ってみて」と声を掛け、じゃがいも掘りをしている子どもたちをカメラで撮影してくれました。

わずかな時間ではありましたが、子どもたちは、じゃがいも掘りや中学生との交流を楽しんでいました。

コロナ禍でも子どもたちが安心して参加できるように、感染の少ない時期での開催など、次の子どもひろばが開催できるように考えていきたいと思ひます。



## 令和3年度●山形村社会福祉協議会普通会員会費納入結果

令和3年度の山形村社会福祉協議会普通会員会費納入につきましては、本年度も大勢の会員の皆さまからご協力をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。地域福祉活動推進のために有効に活用させていただきます。

**総額 1,799,000円(1,799件) 令和3年9月14日現在**

### ■山形村社会福祉協議会／普通会員会費 (1口／1,000円)

(単位：円)

連絡班名	件数	金額	連絡班名	件数	金額	連絡班名	件数	金額	連絡班名	件数	金額	連絡班名	件数	金額
豆沢南	15	15,000	大日	13	13,000	仲町	31	31,000	上竹田中村	32	32,000	北堀	20	20,000
豆沢北	15	15,000	日向	24	24,000	橋爪西	12	12,000	御判形	39	39,000	南堀	34	34,000
青木沢南	12	12,000	堂村上	12	12,000	橋爪東	52	52,000	中村東	2	2,000	原町	15	15,000
青木沢北	12	12,000	堂村下	9	9,000	下大池下村	18	18,000	下本郷	46	46,000	新星	3	3,000
青木沢中	4	4,000	第一	17	17,000	中央通	42	42,000	青葉台	7	7,000	野尻西	6	6,000
中耕地西	15	15,000	清水	11	11,000	城ヶ沢	7	7,000	新和	22	22,000	野尻東	10	10,000
中耕地東	19	19,000	本殿上	20	20,000	西沖	31	31,000	本郷東	23	23,000	竹原	32	32,000
久保	16	16,000	本殿下			唐沢下	27	27,000	本郷北	11	11,000	南竹原	25	25,000
堤南	24	24,000	東殿	10	10,000	原村上	25	25,000	本郷西	17	17,000	竹田原	19	19,000
堤北	42	42,000	上北沖	15	15,000	四ツ谷上	32	32,000	美の里ヶ丘	17	17,000	中竹原	6	6,000
淀の内	29	29,000	中北沖	22	22,000	四ツ谷西	1	1,000	唐沢上	17	17,000	梨の木	20	20,000
上手西	32	32,000	下北沖A	23	23,000	四ツ谷下	34	34,000	神明	33	33,000	北竹原	14	14,000
上手東			下北沖B	30	30,000	四ツ谷中	8	8,000	荒川	12	12,000	三夜塚	21	21,000
野際	32	32,000	上中原	31	31,000	四ツ谷東	11	11,000	上手村	26	26,000	連絡班外	3	3,000
野際東	7	7,000	中原町	39	39,000	南原	1	1,000	西下	15	15,000			
中大池中村	35	35,000	新町	24	24,000	原村東	20	20,000	北村	16	16,000			
中大池下村	22	22,000	小坂台	18	18,000	中耕地	34	34,000	北中	18	18,000			
下村東	29	29,000	下中原	12	12,000	宮村	29	29,000	南中	31	31,000			
山口	22	22,000	中嶋	19	19,000	殿村	31	31,000	若葉	10	10,000			

## 赤十字の活動資金にご協力をいただきありがとうございました。

令和3年度日本赤十字社長野県支部山形村分区活動資金収納運動結果

令和3年9月14日現在

地区名	活動資金額(①+②)	定額支援資金額(①)	寄付額(②)
上大池	152,412円	101,000円	51,412円
中大池	108,000円	104,000円	4,000円
小坂	233,500円	186,000円	47,500円
下大池	175,000円	108,000円	67,000円
上竹田	294,000円	211,000円	83,000円
下竹田	312,500円	249,000円	63,500円
連絡班外	13,000円	2,000円	11,000円
合計金額	1,288,412円	961,000円	327,412円

総合計金額 **1,288,412円**

日本赤十字社長野県支部へ全額を送金いたしました。



# 令和3年度 赤い羽根・歳末助け合い 共同募金運動の実施延期のお知らせ

## 令和3年度共同募金運動の実施期間（山形村共同募金委員会の場合）

例年、10月1日より行なっている戸別募金ですが、新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベル引き上げに伴い、今年度につきましては**実施を延期**いたします。

**学校募金・職域募金・村内公共施設募金（箱）**等につきましては、実施方法を検討しております。

今後の感染状況を見ながら、実施時期を決定いたしますので、山形村共同募金委員会からの情報（配布チラシ・ホームページ等）をご確認ください。

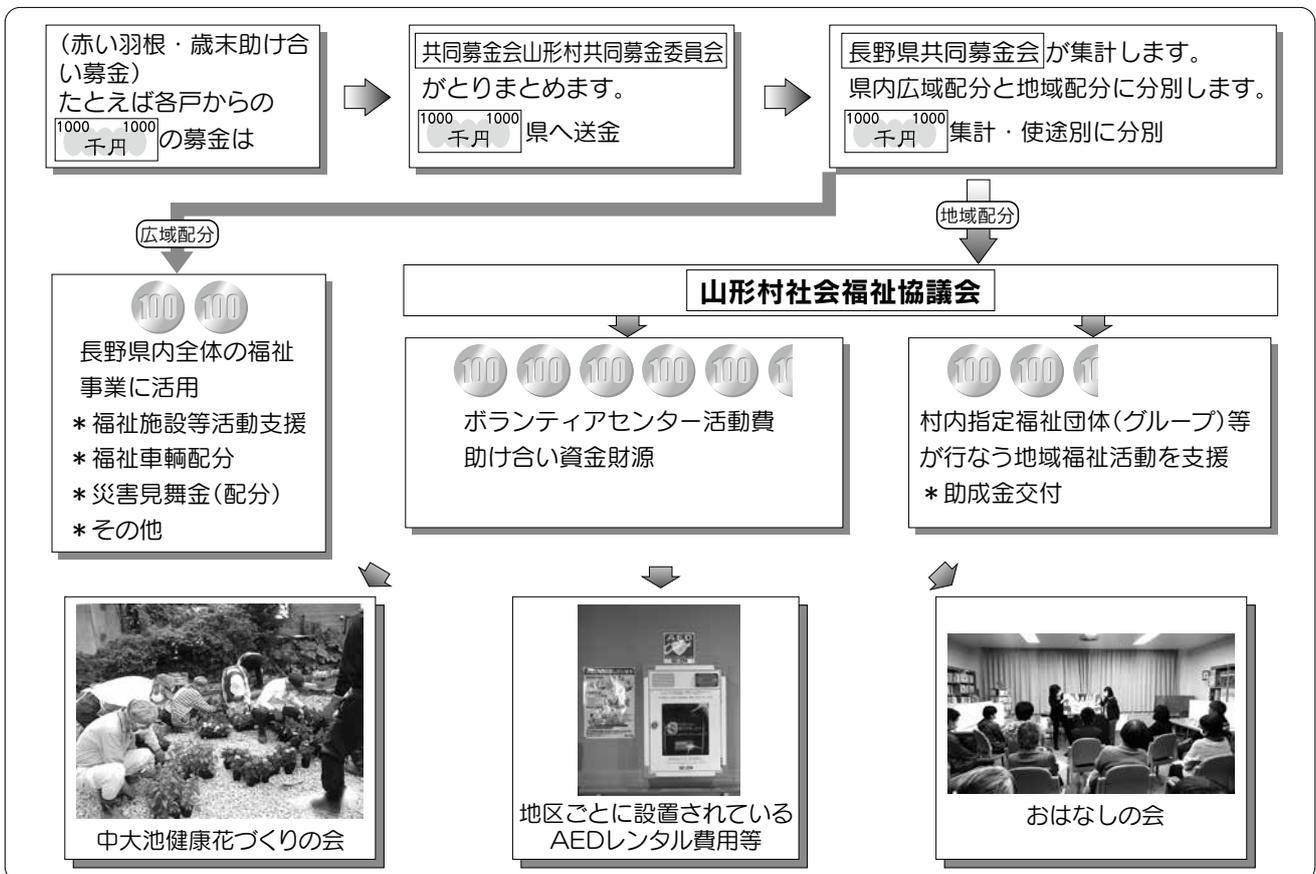
### ——— 幸せな地域づくり「赤い羽根」が支えます ———

少子高齢社会の今日、地域で安心して生活していくためには、さまざまな福祉サービスが必要です。そのため地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会や民間の社会福祉団体や施設、またボランティア団体等によって、多彩な福祉活動が展開されています。

皆さまからの共同募金は、こうした活動の支援のため役立てられます。

**\* 山形村共同募金委員会の令和3年度目標額は、1,960,000円です。**

**\* 戸別募金の例** 戸別の募金として、1戸から1,000円の協力をいただいた場合の募金の流れ（イメージ）



長野県共同募金会 山形村共同募金委員会

事務局 山形村社会福祉協議会内 ☎97-2102

# 障害者生活・就労支援/地域交流センターすばる 「販売中の品物と売り場のご紹介」

障害者生活・就労支援/地域交流センターすばるでは、利用者の方と手芸製品の制作を行なっています。

ミシンが得意な方、ゆっくりだけれど丁寧な手縫いができる方、それぞれの能力を生かし、一工程ずつ丁寧に行なっています。

現在は、手縫いの雑巾・手さし・マスクケースを制作しており、これらの製品は社会福祉協議会受付窓口・保健福祉センターいちいの里・子育て支援センターすくすくの3か所にて販売しています。

製品が売れることで、利用者の方の自信やお仕事としての達成感を得ることができています。ぜひ、この機会に売り場にて商品をお手にとってみてください。



保健福祉センターいちいの里内



社会福祉協議会受付窓口



社会福祉協議会受付窓口内



子育て支援センターすくすく内

## 福祉なんでも相談 — 無料相談 —

年間を通して無料の個別相談会を行なっています。

「介護や障害のサービスってどんなものがあるんだろう？今後のことについて考えたい。」「財産分けや贈与について知りたい。」「新型コロナウイルスの影響で生活が厳しい。就職のことについて相談できないかな。」

介護や障害、年金、相続、子どものことなど、日頃から気になっていることはありませんか？皆さんの困りごとや心配ごとについて相談員がなんでも相談をお受けいたします。ぜひご利用ください。



- ◆時間 午後1時30分～午後3時30分（相談1件につき1時間程度）
- ◆会場 いちいの里すばる 相談室
- ◆料金 無料
- ◆お申込み 要予約 お申し込み時に相談概要をお伝えください。※秘密は厳守いたします。

☆令和3年度 相談日☆

10月12日(火)	12月14日(火)
1月11日(火)	2月8日(火)
3月8日(火)	

お申込み・お問い合わせ

山形村社会福祉協議会 総合相談・権利擁護係  
TEL 97-2102 (担当：芳川・鈴木)

**まほろば** (社協広報/第93号) 令和3年9月24日発行

- 発行所 社会福祉法人 **山形村社会福祉協議会** (山形村保健福祉センターいちいの里内)  
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108
- ホームページアドレス <http://poponet-yamagata.or.jp/>
- 「まほろば」に掲載されなかった記事については、ホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。